

三原市久井歴史民俗資料館 vol.36

モーモー通信



しょうわかでん

昭和家電のせかい

でんたくへん

電卓編①



SANYO ICC-1211 個人蔵

?

←こちらは、昭和 47(1972)年に販売された
電卓(電子式卓上計算機)だよ。およそ、いくら
かな?(現在の価値で)

- ① 6千円
- ② 6万円
- ③ 60万円



モーモー館長



うし丸くん

これが電卓!?スーパーのレジみたいだモ〜



うし子ちゃん

今は 100 円ショップにも電卓は売っているよね! だから
①に決まっているモ〜



でんげん
電源プラグ
をコンセント
にさして使っ
ているモ〜



正解は③ 定価138,000 円で現在の60万円相当だよ!

(当時の物価、大卒初任給48,600 円から算出)

この頃の電卓はとても高価で、会社などで使われたよ。

上の写真の電卓サイズは約縦30 cm横20 cm高さ9 cm、今の
電卓と比べると巨大だよ。トランジスタという電気の流れ
をコントロールする部品が使われているんだ。12桁のたし
算・ひき算・わり算・かけ算ができ、画面も液晶画面が発明
される以前だったので、蛍光表示管だったよ。その後電卓は
個人用に使うことを目的に次々とメーカーから開発され、あ
っという間に小型化し低価格になったんだ。 うら面につづく

でんたく にちようひん
電卓は日用品に！



CASIO MINI ROOT
三原市歴史民俗資料館蔵

上の写真は昭和 49(1974)年に販売された電卓だよ。サイズは約縦8cm横15cm高さ3cm、当時の定価12,800円。個人でも手に入りやすくなったよ。

でんげん 電源プラグでも電池でも両方使えるモ～

でんしかいろ 電子回路を 1枚の基板にまとめる技術が開発され小さくなり、表示の桁数も生活向けの8桁になったよ。写真の電卓は当時なじみのない電卓を、そろばんをおもわせる横型にして大ヒットしたんだ！

次回はモ～っと電卓をくわしく！



企画展 開催中～

企画展「～技術さえわたる～昭和レトロ道具」を11月26日(日)まで開催しています。今回ご紹介した2つの電卓も展示しているモ～



企画展 HP

モーモー通信

<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/soshiki/50/104083.html>



つづきは資料館で ...

〒722-1303

三原市久井町下津 1397

三原市久井歴史民俗資料館

TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日休館)、年末年始

アクセス 中国バス久井中停留所下車

ごあんない図

